

平成 30 年度第 3 回松本市環境審議会 議事録

日時：平成 30 年 11 月 13 日（火）午前 9 時 30 分～10 時 15 分

会場：松本市役所 本庁舎別棟 3 階 大会議室

内容：災害廃棄物処理計画（案）について（協議）

出席者：（委員）野見山委員、茅野委員、宮崎委員、宮澤委員、山田委員、上條委員、
中野（圭）委員、傳田委員、高村委員、松山委員、村上（さ）委員、中野（繭）委員
（事務局）

〈環境政策課〉久保田課長、中村課長補佐、鈴木課長補佐、永元主事、降幡技師

〈環境保全課〉中嶋課長、堀内課長補佐、百瀬（公）課長補佐、八田係長

〈環境業務課〉百瀬課長、百瀬（裕）課長補佐、林係長

欠席者：金沢委員、中澤委員、宮下委員、田口委員、桐原委員、松澤委員、藤森委員、村上（真）委員

1 開 会 （司会：環境政策課長）

2 会長あいさつ

3 議 事

（会長）それでは議事に入らせていただきます。

協議事項 災害廃棄物処理計画（案）について、事務局よりご説明をお願いいたします。

議題 1 災害廃棄物処理計画（案）について（環境政策課）

（会長）ありがとうございました。何かご意見ありますでしょうか。専門部会の委員の皆さまは前回より追加でご意見等ありますでしょうか。

（委員）概要版 5 災害廃棄物の推計について、風水害として床上浸水・床下浸水の発生量推計で大きな数値が書いてあります。地震の方は規定があって、想定されている地震の時にこうですよと示されていますが、風水害については基準値が明記されていませんが何かありますでしょうか。風水害という場合には気象現象であるため、過去のデータから確率量としてのものが示せると思います。

（会長）地震災害の震度 7 といった何か基準を示した方が良いとのことですがいかがでしょうか。

（環境政策課）地震、風水害について最大被害を想定している中で、風水害についてはハザードマップの浸水想定区域に基づく推計で算出しております。地震のような算式は得られていませんが、過去の風水害等の経験を参考にする中で、冊子の 13 ページになります。確率量で言いますと 100 年に 1 回の確率の降雨ということで奈良井川流域の 2 日間の総雨量 234.7 ミリメートルという数値を得る中で推計しております。昨年実施したモデル事業の成果としてこちらをお示ししており、現段階でこれ以上細かい根拠・データをお出しするのは難しい部分がありまして、表現としてはこのような形で収めさせていただきたいと思っております。

（委員）地震については何に対応しているというのが示されているので、風水害の方も例えば 100 年に

1度の大雨を想定しているとか記載があってもいいのかなと思います。13ページの表1.4.3ですが、上の方は長野県が想定した浸水想定区域で100年に1回の確率の降雨量となっていて、下の方は国交省が想定した浸水想定区域1,000年に1回の確率の降雨量となっています。確率年がこんなにも違うのは何か根拠を示さないといけないと思います。

(会長) 条件を入れないと確かに分かりにくいですので、下の方にどちらを選択したかなど入れた方がいいですね。

(環境政策課) 注釈を入れて対応します。

(委員) 34ページ 推計区分 図2.2.2の下部の表について、人口と面積があるが、災害廃棄物は戸数が大きな判断の基準になるかと思います。この表に入れることは可能かと思います。戸数が入ることによって推計値が確度の高いものになるのではないかと思います。

(環境政策課) 前後に全体の戸数ということで推計の入り口論としています。ご指摘の部分については、一戸建てや集合住宅いろいろな捉え方がある中で、どの数字を取り上げたらいいのか研究しなければならないということがありますので、参考にしたうえで可能であれば書き足していくよう検討します。

(委員) 各家庭には様々なものがありますが、入っている物は大体共通していますので、家庭数で良いかなと思います。

(会長) ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

(委員) 37ページ 過去の災害における災害廃棄物発生量 表2.2.4が示されていますが、非常にばらつきがあり何を基準に見ればいいのかと思いました。災害名に対応してその対象となる人や戸数等があればこの表の見方が変わるのかなと思いました。例えば新潟県中越地震は災害廃棄物量が60万トン、ほぼ近いのは広島県の土砂災害の58万トンですが、損壊家屋数は桁が違う数字になっています。廃棄物は混合するという立場から見ると、全壊数が10分の1以下になっているのに災害廃棄物量はほぼ同じという見方をするとどこを基準にして対策の基本を立てればいいのかと気になりました。

(会長) 豪雨は損壊家屋数が少なくても土砂で災害廃棄物量がかさむということがありますから、地震と豪雨とでごっちゃになってしまいますよね

(委員) 可能であれば表を分けたりできたらよいかなと思います。

(会長) 例えば地震災害と風水害とで分けてみますか。

(環境政策課) まず大前提として、この表は下の注釈にもありますとおり、環境省の資料を出典としていることが1つ。2点目ですが、ご指摘のとおり同じような規模等の災害でも廃棄物・損壊家屋の出方にかなりばらつきがありまして、記載してあるのは実績の数字でありますのでそのままのとおりだと思いますが、じゃあ災害の範囲はどこなのか、対応する戸数や人口をどこまで拾えばいいのかという線引きがなかなか難しい部分もあると思いますので、今のお話についてはかなりハードルが高いかなという思いがあります。3点目、地震と豪雨の関係の表を分けたらどうかというご指摘であります。参考資料として過去の災害の災害廃棄物発生状況という整理でありますので、全体を俯瞰するという意味で一表の方が良いかと思いますが、委員の皆様のご意見あればそのような整理もあろうかと思っています。

(会長) 推測は不可能で、実際には読み手の知的レベルや知識のレベルもありますので、表は仕方ないところかと思っています。やるとすれば同じ表の中で地震と風水害に分けるぐらいかと思っています。

(委員) 会長のおっしゃるとおりで良いと思います。急にはできないと思いますが、例えば地震の場合にはマグニチュードや震度がどのくらいであったかはつけられるだろうと思います。そうしますと、風水害の方に関してもその時の確率量がどのくらいであったかということをつけていくことは可能です。

(会長) どこかで線引きはしないとイケませんので、この程度で良いのかなと思います。降雨量に関しては、どのくらい雨が降って災害がどの程度かという情報がほかの場所にありましたよね。別のところになってしまっていますが、頭から読んでいけばわかるかと思いますが。難しいのは豪雨に関してどの時点での雨をとらえたらよいのかという点もあると思いますし、全てを盛り込むとかえって分かりにくくなってしまいかと思いますので、ポイントとしてはこの辺りかと思います。

(委員) 住民の心の準備と言いますか、何か物差しがあれば対応が変わってくると思います。

(環境政策課) 住民の方の目線というのは非常に大切だと思いますが、今回ご議論いただいているのは災害廃棄物処理計画ということで提出をしております。豪雨等に対する住民の方の心の準備というのは、災害全般に対する備えかと思いますが、ここでは深掘りしないことをお願いします。逆に住民の方が素人判断でこのくらいならこうだと思えるのは果たしてよろしいかどうかということもあります。正しい情報を把握し、正しい行動を選択していただくことに重きを置いていただきたいと思います。

(会長) 前回の専門部会においても、同様に「災害の記述について子細に」という意見は出たのですが、最終的には、災害に関する危機管理としての広報や計画冊子というのは別にあり、そのうえでの災害廃棄物という視点だということで、そのあたりの資料を廃棄物処理計画の中に盛り込むのは難しきところだろうという流れになっているところがございます。

(委員) 別に検討する場があり、市民に周知する動きがあるのであれば良いと思います。

(会長) 危機管理の方にも本日のことをお伝えいただくということでお願いいたします。

(委員) 62 ページ 松塩地区広域施設組合について処理に関わるところですが、想定されている地震の場合に関係2市2村が同様の影響を受ける可能性があるだろうと思います。表の中で処理可能量の割振りは現在の処分量の比率で計算されているが、境峠・神谷断層帯(主部)の地震の場合、震源に近い塩尻市や山形村はもっと廃棄物が多くなるのではないかと思います。松本市としてはこれで良いのでしょうか、広域で施設運営している立場の議論はそちらの委員会のものと判断した方が良いのでしょうか。

(環境業務課) 広域の施設組合は2市2村で構成されていますが、災害廃棄物処理計画につきましては、それぞれの自治体で作るということになっております。クリーンセンターはそれを受け入れる側の組織になりますので、まずは単体で計画を作ってそこでクリーンセンターを位置付けてどこまで処理できるかという議論になってくると思います。他自治体はまだ計画ができていないという状況です。松本ができた後作っていくという状況ですので、進捗状況を見ながら協力できるところは協力していくということになっていくかと思います。

(委員) 松本市としては計画策定について他自治体に働きかけをされる予定でしょうか。

(環境政策課) 災害廃棄物処理計画策定については各市町村が責任をもって行うという分野でありまして、すでに他自治体において一定の営みをする事は視野に入っています。松本市が規模が一番大きい、また、クリーンセンターも松本市にあるという状況の中で、松本市の計画を1つの参考にしながらそう遅くないうちに整理をしていくと聞いております。

(会長) 他に意見ありますでしょうか。この案をもって庁議に送るということによろしいでしょうか。

それでは本日の審議を終了といたします。ありがとうございました。